

# Ai愛労連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7

労働会館東館3F

TEL 052-871-5433

FAX 052-871-5618

URL <http://wwwairoren.gr.jp>

2019年12月号

発行人 知崎 広二

317

2020春闘勝利めざして  
愛労連・愛知春闘共闘春闘討論集会  
とき 2019年12月1日(日) 10時開会  
ところ 労働会館東館2階ホール、  
および労働会館本館2階会議室



## 秋期年末、とりくみ旺盛に

人勧確定闘争・年末一時金・社会保障の拡充などめざして

この秋、賃金引き上げや社会保障分野の拡充を求めてのとりくみが続々とおこなわれています。賃金面では8月に人事院勧告が出されて以降、公務関係職場では人勧確定闘争、民間でも年末一時金闘争がとりくまれ、名古屋市など一部確定した所も出てきていますが、現在、山場を迎えています。一方、社会保障分野も、秋の集会などで社会保障拡充に向けた運動真っ盛り。どちらも要求実現に向けて正念場です。

## まだまだ賃金足りない 学習、拡大、そして地域へ

11月1日、名古屋市中区若宮広場で「秋期年末闘争勝利!全県労働者決起集会」が開かれ、公務・民間多くの組合から300人が集まり、秋期年末闘争勝利に向けて意思統一と市民へのアピールをおこないました。

集会では、主催者として知崎愛労連議長が「最賃引き上げも消費税増税で消費者は寂しい限り、民間組合も厳しい状況のようです。大企業に内部留保がたまり格差と貧困の拡大につながる。誰もが8時間働きば暮らしていくける社会にしてしまいましょう」とあいさつ。

続いて自治労連愛知県本部の橋口書記長が行動提起。「労働組合の頑張りもあり6年連続の賃上げ。最賃も30円近くの引き上げ続くが、まだ足りず、くらしは良くなりません。今、必要なのは怒りを高める、団結を固める学習。仲間を増

やすこと。そして、公務員を削減すべきという人も多くいます。公務員が地域に足を踏み出し運動を進めることが重要です。11・21地域総行動で本当の事を市民に伝えましょう」と呼びかけました。

## 社会保障は第2の賃金 社会保障の前進めざして

今年も秋の自治体キャラバンがとりくまれていま

す。愛知県内の全自治体と介護分野、国保、子育てなど社会保障における幅広い事柄について自治体と懇談・要請しています。各自治体との懇談には地元から多くの参加があり自分たちの生活実態からの要求を自

治体に対して直接伝え、対する当局側も真剣に聞き取り・回答をおこなっています。今回の結果は2月にまでなっています。

11月4日は「年金フェス

タ名古屋」が名古屋市中区・若宮広場で開催され、203人が参加し、「年金下げるな!」を街中に元気なっています。

## 署名第1次集約分を提出

今年12月におこなわれる愛知県労働委員会の改選において、愛労連は公正化・民主化を求めてとりくみを進めています。

そして、11月5日「愛知県労働委員会・労働者委員の公平・公正な任命を求める署名」の団体・個人署名の第1次分を愛知県労働局労働福祉課に提出。この後も最終集約分を出し、12月の任命まで粘り強くとりくみを続けます。

そして、11月7日にも同場所で宣伝行動をおこなっています。

また、11月7日にも同場所で宣伝行動をおこなっています。11月5日「愛知県労働委員会・労働者委員の公平・公正な任命を求める署名」の団体・個人署名の第1次分を愛知県労働局労働福祉課に提出。この後も最終集約分を出し、12月の任命まで粘り強くとりくみを続けます。

そして、11月5日「愛知県労働委員会・労働者委員の公平・公正な任命を求める署名」の団体・個人署名の第1次分を愛知県労働局労働福祉課に提出。この後も最終集約分を出し、12月の任命まで粘り強くとりくみを続けます。

そして、11月5日「愛知県労働委員会・労働者委員の公平・公正な任命を求める署名」の団体・個人署名の第1次分を愛知県労働局労働福祉課に提出。この後も最終集約分を出し、12月の任命まで粘り強くとりくみを続けます。

そして、11月5日「愛知県労働委員会・労働者委員の公平・公正な任命を求める署名」の団体・個人署名の第1次分を愛知県労働局労働福祉課に提出。この後も最終集約分を出し、12月の任命まで粘り強くとりくみを続けます。

そして、11月5日「愛知県労働委員会・労働者委員の公平・公正な任命を求める署名」の団体・個人署名の第1次分を愛知県労働局労働福祉課に提出。この後も最終集約分を出し、12月の任命まで粘り強くとりくみを続けます。

そして、11月5日「愛知県労働委員会・労働者委員の公平・公正な任命を求める署名」の団体・個人署名の第1次分を愛知県労働局労働福祉課に提出。この後も最終集約分を出し、12月の任命まで粘り強くとりくみを続けます。



福祉予算削るな! 愛知県民集会

自治体キャラバン①、年金フェス②

こうむな風雨をもたらし、11月7日現在で死者95人、行方不明5人、負傷者472人、住宅被害は全壊1817棟、床上浸水3万3千超など甚大な被害をもたらし、今だ10都県2824人が避難生活の状況▼被災地へのボランティア支援も行われ行政分野でも職員派遣が行われている。職場の人員が厳しい中で要請に応えるため職場の協力は欠かせない。被災対応はまつたなしである。清掃や給食など公務の直當の迅速な対応力も大切だ。職場の人員確保とともに災害復旧に全力を注ぐことが必要だ▼今回の災害では、各地の避難所に住民が殺到し、入りきれない事態が続出した。東京の台東区で自立小学校でホームレスの男性を「住所がない」ことを理由に受け入れを拒否される事例があつた。区長はその後謝罪をしたが、インターネット上で「住所がない」ことを肯定的な意見が多く見られた。社会の中にある差別をあらわしたものと言えないか。命に優劣はないことは言うまでもない。日頃から助け合う姿勢を心がけたい▼避難者の対応など災害対策の見直しも必要だ。人権を尊重し格差と差別の見直しを守る社会保障制度や防災にこそ国や自治体は力を入れるべきである。(H)





